

●自然体験④

16 平和と公正を
すべての人に

キャンドルの集い

概要

1日の活動の締めくくりや、宿泊学習を振り返るセレモニーとして、仲間と共にしっとりと燃えるキャンドルを囲みます

人数

・最大 60 名程度

対象

・未就学児～

実施期間

・通年

所要時間

・45 分～60 分程度



活動場所

・多目的ホール、研修室（スズラン・ユキザサ・カタクリ）

指導のねらい

・1日の活動をふりかえる場面として、対話的な学びを促す

活動のながれおよび留意点

【事前学習】

- ① 「なぜ、キャンドルの集いを実施するのか？」の目的を共有する
- ② どのような集いにしたいかを想像する
- ③ キャンドル係（準備係、営火係、点火係等）の役割分担が必要であれば、決めておく
- ④ 必要であれば、点火用トーチ（手持ち燭台）を作成しておく

【当日】

<準備>

- ① 燭台と防火マットを山の家から借りる
- ② 防火マットを引き、その上に燭台を置く
- ③ ロウソクを燭台に刺しておく

<後片付け>

- ① ロウソクはバケツに入れ、水で完全に消火してからゴミ袋に入れる（※ゴミは持ち帰るか、売店で有料ゴミ袋の購入をして捨ててください）
- ② 使った道具や部屋を元の状態に戻す

準備物品

【山の家で貸出可能なもの】

・燭台（1台）・焚き火台（6台）・防火マット（4枚）

【団体で準備するもの】

・ロウソク、着火ライター、アルミホイル

備考

・火を使う活動なので、やけどや防火に注意する